

【学級での説明例】

地球の大気や海水の温度が少しずつ上がっています。そのためにゲリラ豪雨などが頻繁に起きています。その主な原因は、人間が活動をしているときに出す二酸化炭素があげられます。皆さんは、二酸化炭素を大量に出していることに気が付かないかもしれません。たとえば、私たちが電気を利用するとき、火力発電では、石油や天然ガスを燃やして熱エネルギーを電気エネルギーに変えています。そのときに二酸化炭素が発生します。ですから電気を使うと二酸化炭素を出していることになるのです。電気を有効利用して少しでも節電すれば、二酸化炭素の発生を抑えることができます。また、森を適切に管理（生物多様性を維持）して増やせば、二酸化炭素を吸収してくれます。このように、身のまわりで二酸化炭素を出すことを減らして、吸収することを増やせば大気中の二酸化炭素を減らすことができます。まず、身近なところからどのようなときに二酸化炭素を出しているのかを知り、どのように工夫すれば少しでも二酸化炭素の排出量が減らせるのかを考えて、生活することが地球温暖化を防止することになるのです。

二酸化炭素

二酸化炭素を出さない工夫 ↑ 排出 吸収 ↓ 二酸化炭素を吸収する工夫

私たちの生活

「エコライフ DAY」の取組みは、チェックシートを見ながら1日を通して、省エネや省資源など環境に配慮した生活をしてみることにより、自分で削減することのできた二酸化炭素の量が簡単に計算できます。ゲーム感覚で家族ぐるみで楽しくチャレンジできます。私たちの普段の生活で続ければ、それだけ地球温暖化防止に役立つこととなります。一人ではわずかな量でも、継続すれば、また、たくさんの人が行えば、多量の二酸化炭素放出を削減できます。

みんなで「エコライフ DAY」に取組み、地球温暖化防止に貢献して、地球に住む将来の人のためによりよい環境を受け継げるようにしましょう。